

令和6年5月26日

作成：風早北部地域ふるさと協議会  
防犯防災部

## 第1回防災活動に関する意見交換会・議事録

- ◆ 開催日時：令和6年5月25日(土) 午前10時00分～午前11時45分
- ◆ 会場：沼南近隣センター2階 学習室1・2
- ◆ 出席団体：五條谷区・新舟戸町会・井堀内町会②・追花町会②・柏東パークホームズ管理組合②・中郷町会・中の橋町会②・緑台町会③・舟戸町会・沼南エリカマンション②・塚崎区・塚崎二丁目自治会・塚崎三丁目自治会・大津ヶ丘一丁目町会・大津ヶ丘四丁目町会②・大津ヶ丘第一住宅管理組合・同第三住宅管理組合・塚崎パークヴィラ自治会②・リバティーヒル柏自治会・手賀の杜自治会②・大津ヶ丘中学校・大津ヶ丘第二小学校 以上22団体／32名…○数字は2名以上参加者数

オブザーバー参加：柏市防災安全課②・柏市沼南近隣センター、計3名

本会議欠席の団体：箕輪区・大井区(長)・大木戸町会・大津ヶ丘二丁目町会・同三丁目町会・サンパワー区管理組合・グランシティ大津ヶ丘管理組合・プロムナード大津ヶ丘管理組合・風早中学校・大津ヶ丘第一小学校・風早北部小学校→欠席団体には後日希望する日程調整にて個別に簡単な本会議内容の説明会を実施予定。

議事録(案)：

1. 防犯防災部長冒頭あいさつ…別添参照
2. 会議出席者自己紹介
  - 柏市からの出席者、各学校からの出席者を司会進行役から紹介
  - 各団体からの出席者自己紹介
3. 協議内容
  - (1)防犯防災部からの報告事項の骨子は以下の通り
    - 当地域の現状・課題・対応策(議題1)
      - ① 地域内の指定された住民避難場所屋内スペースが圧倒的に不足している現状にある。配付資料A3横長一覧表にて、当会が柏市の直近人口統計から算出した大規模災害発生時の避難住民数の推計値と各避

難所の収容力を比較し、二松学舎大学柏キャンパス以外は総じて不足している現状を指摘した。

本課題につき柏市からは改善とみられる具体的対応策がない一方、当地域住民団体としては「マイカー避難＋マイテント避難の推進」を訴えているが、市は車両渋滞で緊急車両の通行を妨げる恐れありとして、本意見には否定的姿勢である。

- ② 総合病院が本地域に所在していないことで、災害時にこうした医療機関に招集がかかる医師・看護師が最悪この地域から居なくなる、手賀大橋が緊急車両優先通行によって我孫子市側総合病院にも向かえないため、怪我をしても平時に助かる命が守れない状況に陥ることになる。こうした状況を市行政が市民に案内していないことの問題の根っこが大きいと危惧する。

この点につき柏市は、「災害時の緊急医療施設設置を優先的に検討」しており、その候補場所は概ね定まった(公表の段階ではない)模様ながら、当該施設以外の大きなハードルとして、医師や看護師の配置、医療機器の運搬、薬剤の十分な確保といった点でのより大な課題もあり、簡単に解決するものではない(＝緊急医療施設の設置はほぼ不可能)というのが当会の見解である。→地域住民としては、大規模災害時に怪我をしない取組みとして具体的施策(←当会から柏市には具体的要望内容を提示済み、シェイクアウト訓練の本格実施もその一つ)に力を傾注すべきであり、上記の緊急医療施設実現の協議と並行して、市民が怪我をしない本テーマを前に進めることが大切と考える。

- ③ 柏市の膨大な「地域防災計画」を真に実効ある内容として検証するためには、市内広範囲での防災訓練を実施する以外に方策はないものと考え、数年前から市にその実現を要望している。市としても、より多くの市民参加型訓練の必要性は認識しているものの、抜本的改善には至っていないものと当方は評価している。

- 今年度の当会防犯防災部事業活動の案内(議題2)

配付資料の内容に沿って、今年一年間の当部の日程を解説、各団体からの出席(参加)を促した。原則として毎月の第四または最終土曜日に催事を実施する(但し12月、来年3月は実施の予定なし)。

次回は6月29日に防災講習会を開催することで、本日もご出席の皆さま

んは参加されるとの前提にて座席は確保する旨を伝え、加えて、秋の防災訓練などで一緒に準備や当日の訓練実施等でご協力をいただく他の団体役員や住民有志の参加についても促した。

- 避難所開設手順書作成を提案（議題3）

松葉地域ふるさと協議会が作成した開設手順書を提示し、これを手本に今期において、当地域でも避難所学校毎にこれと同趣旨の資料を作成することを目指したいと提案した。具体的には7月の第3回会議で協議を開始予定であるが、それまでに、各自で松葉地域ふるさと協議会作成の本手順書を一読いただくよう依頼した。

- 柏市危機管理部防災安全課から今年度総合防災訓練の日程と内容案の提示（今年9月21日にアリオ柏の会場一角を利用して実施する予定で、詳細は配付資料を参照）（議題4の①）

【会場発言】当地域内開催の催事であるが、お祭りの内容が目につき、果たしてこれが真に市民の防災訓練足りうるかは甚だ疑問である。こうした内容を当風早北部地域内（アリオ柏は当地域内の商業施設）で防災訓練として行って頂きたくないと正直感じている。内容を再度ご検討いただきたい。

【柏市】市としては昨年9月の柏の葉地域での総合防災訓練時のアンケート意見を踏まえて見直しし、今回の内容となったことをご理解願いたい。

【会場発言】これまでの3つのパターンの訓練を3年毎に実施する内容にあまり変化が見られない。私どもは、これまで市が実施してきた訓練のやり方自体に大きな問題があり、その見直しを強く要望してきたが、それが聞き入れられたように到底思えず誠に残念である。一方で、シェイクアウト訓練を本格的に行うようなニュアンスにも受け止められ、今期の同訓練の実施に期待している。

- 柏市沼南近隣センター職員から同センター（風早北部地区災害対策本部設置場所）での今年度の防災活動予定につき説明があった。（詳細は配付資料を参照）（議題4の②）

【会場発言】無線交信訓練は是非、今秋に当地域内各団体が安否確認訓練の集計結果につき無線機（トランシーバー）を使って報告する予定であり、これを市地区災害対策本部側で受信する形で訓練を実施されることを強

く要望する。

【会場発言】資料中の自主訓練は周辺住民も参加するのか。

【近隣センター】地区本部の市職員による訓練であるので、住民参加の予定は組まれていない。

【会場発言】今回30名の本部員で9名増加となったことは評価したい。

【近隣センター】従前の部局に担当役割をふっていたのをそのエリア担当者割振ることとなり、そのために増員が図られ、地域内8つの避難所に各3名を配置できている。

【会場発言】この近隣センターが所在する大島田地区や大井区大木戸地区は、当地域内でも防災活動が後発で、役員や住民の危機意識が必ずしも高くないことが問題となっており、そうした住民が周辺にお住まいであるとの環境を市職員は是非念頭に入れておいて欲しい。他の地域でも、こうしたセキュリティホール(守りが脆弱な)地区を抱える地域は決して少なくなく、そうした住民の存在のしわ寄せが有事には必ず行政に降りかかることを市職員は覚悟していただきたい。

【会場発言】柏市役所・近隣センター・ふるさと協議会の災害発生時の対応の立ち位置がよくわからない。

【ふる協】災害時に私どもふるさと協議会役員は風早北部地域の皆さんのための役割はないものと理解願いたい。私も地元の手賀の杜で災害対応の活動にあたっているためである。その意味では、現在の柏市のルールにある災害時のふるさと協議会役員の役割が明示されているのは実態にそぐわないものと私は考えている。災害時は、皆さん方住民及びその地域団体(区・町会・自治会・管理組合)と柏市(当地域は沼南近隣センター)との間で情報連絡を直接交わすことになる。

【会場発言】市及び沼南近隣センターから各地域団体に指令が降り、各地域団体の役員や住民が対応するような形はないのか？

【柏市】市から各種の依頼を発することはあっても、指示するような体制にはないものとする。市は住民向けに災害対応に必要な情報を発信することが主務となり、また発災時の被害状況や住民安否の確認が最優先業務となる(安否確認結果の通報には各地域団体及びその住民からの通報の協力が欠かせない＝災害時は電話が通じない状況に陥ることから各団体で無線機を導入し使用している)。

- その他の事項・次回の本会議と今後の日程及び連絡方法の確認
  - ✓ 次回の第2回防災活動に関する意見交換会は6月29日に開催する「防災講習会」となる。奮って皆さんの受講をお願いします。受講申し込み用チラシを用意したので、必要部数をお持ち帰りください。本チラシは本日(5月25日)午後以降、当会事務室前と当センター1階ロビーのパンフレットコーナーに置いてありますので、ご自由にお受け取りください。
  - ✓ 当会からの配付資料は原則データで共有したく、当会ホームページや各自の電子メール(あるいはライン)宛に提供します。デジタルでの対応が難しい方は印刷紙面をお渡ししますので、遠慮なく当部事務局にご用命ください。
  - ✓ 無線機(トランシーバー)を今期初めて引継ぎを受けた役員、住民向けにその操作手法や保管管理方法の講習会をその後の実践交信付きで行う予定です。6月1日(土)午後2時から3時まで。8日(土)午前10時半から11時半までの2回(いずれかの受講で可)。事前の参加予約は不要なので、当日、当会事務室に参集願います。本講習会の案内チラシはふるさと協議会事務室前に置き配してありますので、ご来場の上ご自由にお受け取りください。
  - ✓ 会議中では申し忘れましたが、配付資料③～⑫のとおり、今年度も当会から発信の防犯、防災ニュース紙面(月4回更新します)は原則当会ホームページからの閲覧となりますが、印刷紙面をご要望の団体は配付資料③及び④の記載に沿って、個別に当部へご要望ください。  
また、配付資料の後ろから3枚目裏面記載の、希望する会議出席の皆さんに無料で書類のファイリングホルダー1冊を今後お配りしますので、本紙面掲載の要望書小片に必要事項を記載して当会事務室連絡箱に投函、または当部までメールでお申込みください。第1回目の締切りは6月15日で、6月29日の防災講習会、あるいはその次の7月の第3回防災活動意見交換会の席でお渡し可能です。
- その他、出席団体からの意見・要望
  - 【塚崎区】今年度は防災倉庫設置の予算を組み、倉庫の設置を検討し

ているが、各団体で管理する防災倉庫の収納物一覧表(リスト)があれば差し支えない範囲で写しを頂戴したい。またその中で、当方に非常時以外の際に借用(貸出)可能な物品があればお知らせ願いたい。→次回(7月27日)の第3回会議までに各団体で保管物品リストがあればご提供にご協力願います。

【沼南エリカマンション管理組合】防災倉庫に入れておくべき物品を紹介した資料などを市やふるさと協議会で把握されていないか?→柏市にはない模様。インターネットで検索して調べられそうなら、調べておく(ふるさと協議会)。

以 上